

令和4年3月31日

保護者 各位

岡山県立津山工業高等学校
校長 山口 徹 尚

本校の部活動における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

時下、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素から本校教育に対しまして、格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校の部活動における新型コロナウイルス感染症対策については、令和4年3月11日付け文書でお知らせしたところですが、このたび、岡山県のオミクロン株リバウンド防止特別対策期間が3月31日で終了すること等を踏まえ、4月1日から次のように指導します。

現状として、10代以下の新規感染者の割合は依然として高く、高校生年代の新規感染者の増加も見られることから、オミクロン株の特性も踏まえ、これまでと同様の危機意識を持って、これまで取り組んできた基本的な感染症対策を徹底しながら活動することが重要であると考えております。

つきましては、御家庭におきましても御留意いただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症やお子様の学校生活等について御心配等がありましたら、遠慮なく学校まで御相談ください。

記

1 通常の活動

可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討すること。密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動については、地域の感染状況を踏まえ、自粛も含め慎重に検討すること。

また、練習開始時の集団走でのかけ声など、近距離でのかけ声や向かい合って発声等は避けること。

屋内での活動の場合は、換気の徹底について留意すること。

なお、生徒と保護者の意向を尊重して、参加を強制しないことはもとより、顧問等は、活動の実施状況や生徒の健康状態を必ず確認し、発熱等の風邪の症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合には、自宅での休養を徹底すること。

感染者が確認された場合は、該当の部活動は、直ちに活動を中止すること。

2 対外試合等

(1) 対外試合や合宿の実施（公式な大会や演奏会等を除く）

複数校の集まる試合等で集団感染が発生していることや、バス等での集団移動時の会話や飲食等により感染リスクが高まることなどから、対外試合や合宿等の実施については自粛も含め慎重に検討すること。

(2) 大会や演奏会等への参加

大会や演奏会等への参加に当たっては、感染症対策に万全を期すこと。

なお、県外の大会や演奏会等への参加については、十分な感染症対策が講じられている公式戦等（全国・中国大会等）への参加を除き、自粛すること。

3 特に注意が必要な場面

(1) 飲食の場面

活動時間の工夫等により、飲食の場面を作らないことが望ましいが、やむを得ず飲食の場面が生じる場合は、飛沫を飛ばさないような席の配置や、会話を控えるなどの工夫をすること。また、水分補給等の場合も同様の対応をすること。

なお、飲食の前後に会話する場合は、必ずマスクを着用すること。

(2) 更衣の場面

部室での会話（密閉空間における近距離での会話）により、濃厚接触者に特定された事例もあることから、部室や更衣室等を利用する際にも必ずマスクを着用し、外す場合は会話をしないこと。また、短時間の利用とし一斉に利用することは避けること。

(3) 帰宅途中の飲食場面

部活動終了後の帰宅途中にコンビニエンスストア等に立ち寄り、集団で飲食する場面も見られることから、校外においても、(1)及び(2)の対応を踏まえ、十分に注意すること。

(4) マスクの着用

運動時は、身体へのリスクを考慮し、マスクの着用は必要ない。

特に、呼吸が激しくなる運動を行う際には、十分な呼吸ができなくなるリスクなどの健康被害が発生するリスクがあるため、十分な感染対策を講じた上で、マスクを外すこと。ただし、用具の準備や片付けなど運動を行っていない際は、感染症対策として可能な限りマスクを着用すること。

合唱時は、原則マスクを着用することとし、感染症対策を徹底すること。

なお、呼吸が激しくならない軽度な運動を行う際、生徒等がマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を否定するものではないが、合唱時等を含めて、マスクの着用時は、生徒等の体調の変化に注意し、教員は適切な声かけ等を行い必要に応じて他の生徒等との距離を十分に確保して、マスクを外して休憩するよう指導するなど、感染症対策を講じながら事故防止にも留意すること。

本件担当

岡山県立津山工業高等学校

教務課長 福田 誠

生徒課長 下野 優児

TEL: (0868) 22-4174